

12月16日「冬の安全指導」

例年、本校では冬休み前に「冬の安全指導」を行っています。

今年度は昨日、全校児童へのお話とその後、各学級で学年に応じた指導内容の確認を行いました。その内容の柱についてご紹介いたします。

- ① 地面はすべるよ、どこまでも。
 - 玄関、乗り物の乗降時、横断歩道の白い線上、タイル上などは滑りやすい。
 - 濡れた靴底の危険…上記の場所では特に滑りやすいこと。

- ② 雪もすべるよ、どこまでも。
 - 軒下の落雪の危険…軒下 2m 以内には近づかない。

- ③ 雪は解けるよ、つぶれるよ。
 - 大きな雪山は崩れると危険…重機で積み上げた雪山での遊びは注意。
特にかまくらなどは、人力で作った方が安全。

- ④ もしもの時、帽子、手袋が身を守る
 - 転倒時に大けがから身を守ってくれる大事な装備。

上記の4点に関わって、人と同じように自動車も、スケートやスキーなどのウィンタースポーツも滑ることで急には止まれないことに触れ、スピードの出し過ぎや歩行時の急な飛び出しへの注意喚起もお話しました。

子どもたちにも、「ご家庭の人とお話してみてね。」と伝えております。どうぞこの機会にご家族で今一度話題にさせていただき、冬場の安全について、意識づけの一助としていただけるとありがたいです。